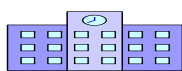


学校だより第8号 平成29年11月1日(水) 学校教育目標：自ら学び、心豊かでたくましい児童の育成



きざき



— 児童が目輝かせて、
明日の授業を楽しみにする学校 —

TEL048-831-2281

URL <http://kizaki-e.saitama-city.ed.jp/>

E-Mail kizaki-e@saitama-city.ed.jp



さいたま市立木崎小学校

児童数 850 名

読書好きの児童が育つ土壌

校長 豊島 登

朝晩は急に冷え込むようになり、深まる秋を感じる季節となりました。先週の土曜日に開催しました「公開音楽会」には、多くの保護者、地域の皆様にご来校いただきありがとうございました。子どもたちも、気持ちよく、自信をもって発表することができました。

さて、木崎小では、10月4日(水)から27日(金)までを校内読書週間と位置付け、様々な取組を行ってきました。

- ①読書環境を整える取組…読書時間の確保(朝読書)、図書委員作成のポスター掲示
- ②読書の幅を広げる取組…教員の「おすすめ図書」の掲示、校内放送による読書感想文コンクール出品者の作品紹介
- ③「家庭読書」を推奨する取組…「親子読書」の実施
- ④読書活動を楽しむ取組…図書紹介のしおりを贈り合う「しおり郵便」の実施、図書委員や「絵本ママ」による読み聞かせ
- ⑤その他…図書委員会による読書週間の取組を紹介するテレビ放送



木崎小には、「メルヘン」(低学年用)と「ドリーム」(高学年用)という2つの図書館があります。学校図書館司書が常駐し、読書の輪を広げる活動に日常的に取り組み、調べ学習のセンター的な役割も担っています。図書ボランティアや絵本ママの方々にも、多くの協力をいただいて、81.9%もの児童が「読書が好き」と答えています。これは、全国やさいたま市の平均と比べて、7ポイント以上も上回っています。

取組の一つである「親子読書」では、お忙しい中保護者の皆様にご協力をいただきました。高学年は児童が保護者の方と同じ本を読み、低学年は児童が選んだ本を保護者の方に読んで聞かせて、それぞれに感想を書いていただくという取組です。ある低学年の児童は、「お母さんに読んであげてよかった」と書いていました。この一文を読んで、「いいお話だね」「読んでくれてうれしかったよ」「どこが好きなところなの?」といった会話が弾んだ様子が伝わってきました。また、ある高学年の保護者の方からは、「毎年選ぶ本が変わっていき、子どもの成長を感じる」といった感想がありました。継続して取り組んできたからこそ、木崎小には読書好きの児童が育つ土壌ができてきたのではないかと感じました。

ちなみに、全国読書週間は、11月9日までとなっています。秋の夜長、家庭でもさらに読書の輪が広がるとよいと思います。

体罰・暴言等不適切な指導に関する相談票が、さいたま市のホームページにもアップされました。

掲載箇所：トップページ>子育て・教育>教育>お知らせ>平成29年度体罰・暴言等不適切な指導に関する相談について <http://www.city.saitama.jp/003/002/011/p056013.html>

学校もしくは教育委員会への相談は随時お受けしておりますので、必要に応じてご利用ください。